

資料2-1

- ◆ 路上走行においては、測定環境や運転方法の台上走行との違い、エンジン保護制御の作動等により、台上走行と比較して排出ガス量に増加がみられることが、今般の検証結果から判明した。
- ◆ 路上走行と台上走行の排出ガス量に乖離が生じることにより、当初想定した排出ガス規制の効果の不十分となるおそれがある。
- ◆ このため、路上走行における排出ガス規制の効果を実証的なものとするべく、PEMSを用いた路上走行検査を導入すること及び国内の走行環境での出現頻度及び自動車環境対策技術レベルを考慮した保護制御の作動範囲の指針を策定することが必要である。

台上規制値と路上走行におけるNOx排出量の違い

